

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第713号

令和5年3月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <https://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 大橋 邦啓

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

公益社団法人日本獣医師会藏内勇夫会長アジア獣医師連合 (FAVA) 会長就任祝賀会に出席…………… 1
令和4年度埼玉県獣医師会新入会員研修会を開催…………… 3

会務報告

令和5年度集合狂犬病予防注射資材売買契約会…………… 5
第3回狂犬病予防委員会…………… 5
第2回班長会議…………… 5

新入会員報告

新入会員紹介…………… 6

ひろば

埼玉県獣医師会学術講習会 (北支部担当 (Web開催)) の開催報告…………… 6
埼玉県獣医師会学術講習会 (東支部担当 (Web開催)) の開催報告…………… 6

お知らせ

埼玉県からのお知らせ…………… 7
日本獣医師会からのお知らせ…………… 10
国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況…………… 12
埼玉県獣医師会提携ローンについて…………… 14

埼玉県獣医師会学術広報版…………… 16

事務局より

事務局メモ…………… 17

編集後記…………… 18

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

公益社団法人 日本獣医師会 藏内勇夫会長 アジア獣医師会連合 (FAVA) 会長就任祝賀会に出席

令和5年2月20日(月)午後5時から、東京都港区の明治記念館で藏内勇夫日本獣医師会会長のアジア獣医師会連合(FAVA)会長就任祝賀会が開催され、高橋三男会長が出席いたしました。

この祝賀会は麻生太郎自由民主党副総裁・獣医師問題議員連盟会長や林芳正外務大臣、横倉義武日本医師会名誉会長らが発起人となり、昨年11月に福岡市で開催されたアジア獣医師会連合(FAVA)代表者会議において同連合の会長に選任されたことにより、ワンヘルスの推進をはじめとする様々な国際活動に取り組んでいる藏内会長を激励するために開催されました。国会議員や関係省庁から多くのご来賓が招かれるなか、地方獣医師会会長を含め約300名の方々が出席しました。

第1部は午後5時から2階「蓬莱」において式典と記念講演が行われました。式典では林芳正外務大臣をはじめ多くの御来賓からお祝いのご挨拶があり、その後、日本獣医師会の顧問でもある酒井健夫日本大学学長がワンヘルスに関する講演を行いました。最後に藏内会長が謝辞を述べて第1部は閉会しました。



記念講演をする酒井健夫日本大学学長・日本獣医師会顧問



謝辞を述べる藏内勇夫会長

第2部は午後6時45分から2階「富士」に場所を移し祝宴が開催されました。麻生太郎自由民主党副総裁・獣医師問題議員連盟会長の発起人挨拶に続き、獣医師問題議員連盟会長代行の森英輔衆議院議員が乾杯の発声を行いました。高橋会長は多くの御来賓と懇談し国内外における獣医師会の発展に向けて情報交換をしました。



藏内勇夫会長を囲んで

左から 境政人日本獣医師会副会長兼専務理事、中村滋副会長、藏内勇夫FAVA会長・日本獣医師会会長、高橋三男会長、大橋邦啓理事(農場管理獣医師協会代表として出席)、林繁雄理事



左から 麻生太郎自由民主党副総裁・獣医師問題議員連盟会長、高橋三男会長、藏内勇夫FAVA会長・日本獣医師会会長



全国会長会議常設議長として麻生太郎副総裁に
日本獣医師会と地方獣医師会の現状を説明する高橋三男会長



左から 横倉義武日本医師会名誉会長
高橋三男会長、松本吉郎日本医師会会長(さいたま市見沼区で開業)

令和4年度 埼玉県獣医師会 新入会員研修会を開催

令和5年3月13日(月)、「埼玉県農業共済会館」において開業部会及び勤務部会両運営委員会による新入会員研修会を開催しました。

午後1時30分から開始された研修会では、全ての新入会員を対象とした全体研修と、開業支部会員のみを対象とした開業支部会員研修が実施されました。

1 全体研修会

中村滋副会長の開会の言葉に続き、新入会員の自己紹介に続き獣医師会役員が紹介されました。その後、本来であれば高橋三男会長が挨拶をするところですが、高橋会長はこの日正午から東京都千代田区永田町の自由民主党本部で開催された、自由民主党ワンヘルス推進議員連盟の設立総会に出席したため、到着次第挨拶をしていただくこととし、早速、獣医師会の定款や獣医師倫理などの全般的な内容について次のとおり研修が行われました。

- ① 獣医師のあり方について(中村滋開業部会第1運営委員長)
- ② 埼玉県獣医師会会員憲章について(大橋邦啓総務委員長)
- ③ 埼玉県獣医師会定款・諸規程について(大橋邦啓総務委員長)
- ④ 公益社団法人について(林繁雄理事)
- ⑤ 獣医師関係法令について(田中美貴勤務部会運営委員長)

講義が終了したところで高橋会長が到着し、新入会員に対し歓迎と激励の挨拶をしました。



挨拶をする高橋三男会長



20名が参加した全体研修会

2 開業支部会員研修会

午後3時から、開業支部の新入会員のみを対象として、開業獣医師にとって必要な法律手続きや診療業務にあたっての心構え、集合狂犬病予防注射事業の事務手続きなどについて研修が行われました。

- ① 開業獣医師に係る関係法令について(小暮一雄開業部会第2運営委員長)
- ② 集合狂犬病予防注射の実施について(青山利雄狂犬病予防委員長)

講義の終了後、午後4時に小暮副会長が閉会の言葉を述べて研修会は終了しました。

今回の研修会には、20名(開業6名、勤務14名)が参加されました。参加者は配布された多くの資料に目を通しながら講義に聞き入り、熱心に受講されていました。



全体研修会に続いて開業支部会員研修会を開催

会務報告

令和5年度集合狂犬病予防注射関係資材売買契約会

令和5年2月21日(火)午後1時30分から、埼玉県農業共済会館において次の事項を協議した。

協議事項

(1) 令和5年度集合狂犬病予防注射関係資材売買契約について

各社から提出された狂犬病ワクチン及び注射用資材等についての見積価格を比較検討し、資材ごとの契約単価を決定して各社と売買契約を締結し、班別の配布計画(案)について協議し決定した。

(2) その他

集合狂犬病予防注射実施班ごとへの資材納入に当たっては、各社が班長と十分に連絡を取り、資材が円滑に納入されるよう要請した。

第3回 狂犬病予防委員会

令和5年3月8日(水)午後1時30分から、さいたま市「清水園」において次の事項を協議した。

協議事項

(1) 令和5年度集合狂犬病予防注射実施について

令和5年度における実施予定者、ワクチン等の関係資材の購入及び班別配布計画並びに班長提出書類等について協議し決定した。

事故が発生した場合には、実施者、班長、事務局、委員、支部長等がよく連携をとって、迅速・適確な対応を取ることとした。

(2) その他

令和3年3月11日に改訂した「新型コロナウイルスの感染拡大防止に関する集合狂犬病予防注射実施時の注意事項(改訂版)」について、3月13日からマスク着用が個人の判断にまかされることから、「6 飼い主にマスク着用をお願いすること。」を削除することとされた。

第2回 班長会議

令和5年3月8日(水)午後2時30分から、さいたま市「清水園」において次の事項を協議した。

協議事項

(1) 令和5年度集合狂犬病予防注射実施について

令和5年度の実施予定者、ワクチン等関係資材の購入及び班別配布計画並びに班長提出書類等について説明し、円滑な実施を依頼した。

事故が発生した場合には、関係者との連携や事故報告の提出などについて、迅速・適確な対応を要請した。令和5年度からデスポが(株)トップ製に変更されるため、担当者から製品の特長などについて説明があった。

(2) その他

令和3年3月11日に改訂した「新型コロナウイルスの感染拡大防止に関する集合狂犬病予防注射実施時の注意事項(改訂版)」について、3月13日からマスク着用が個人の判断にまかされることから、「6 飼い主にマスク着用をお願いすること。」を削除することとされた。また、マスク、手袋などの新型コロナウイルスの感染拡大防止に必要な資材のサイズ確認を依頼した。

新入会員報告

新 入 会 員



なかじま けいすけ
中嶋 慧介
団体支部



おおやま なおき
大山 直樹
団体支部

勤務部会

支部名	氏 名	勤 務 先
団体	中嶋 慧介	宮代町・東武レジャー企画株式会社
団体	大山 直樹	さいたま市・後藤動物病院

ひろば

埼玉県獣医師会学術講習会(北支部担当(Web開催))報告

北支部長 大橋 邦啓
学術委員会委員長 高橋 一成
学術委員 山本 慎也

2023年3月1日(水)、北支部担当として米国獣医画像診断学専門医の村上正紘先生(米国パデュー大学)に
お願いしZoom形式のオンライン講習会を実施しました。

「嘔吐のレントゲン診断」と題して、画像診断学専門医による読影アプローチについて解説していただきました。

具体的には、動物の体位の違いや食後・飲水後の経過時間等を考慮したガス陰影の写り方から胃腸管の
「うっ滞の質感」を読み取り、機能的・機械的閉塞の有無について診断するという成書等には記載されてい
ない専門医ならではの読影のコツを教えてくださいました。

また、質疑応答では講習の内容のみならず、日頃のレントゲン診断に関しても村上先生に答えていただき
多くの疑問を解消することが出来ました。明日からの診療に役立つ有意義な講習となりました。

〈参加者：会員48名〉

埼玉県獣医師会学術講習会(東支部担当(Web開催))報告

東支部長 青山 利雄
学術委員会委員長 高橋一 成
学術委員 笠次 良宣

東支部では、令和5年3月17日(金)に、どうぶつの総合病院 院長・神経科主任、米国/アジア獣医神経
科専門医の金園晨一先生をお招きし、「それって発作？ けいれん発作への診断アプローチ」と題してZOOM形
式のオンライン講習会を実施しました。

日頃の診療で遭遇する悩ましい疾患ということもあり、各支部から多数の会員にご参加いただきました。
講義では問診、身体診察のあり方、ミニマムデータベースの重要性を含めた一般臨床家にとって大切なこと
を解説いただきました。

参加者の皆様からは多くのご質問をいただき、また、講義終了後も30分間近く質疑応答を行なってい
ただき、日々の診療に役立つ非常に有意義な講習会となりました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

〈参加者〉 会員70名

お知らせ

農政第1014号
令和5年2月17日

(公社) 埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部長 小畑 幹 (公印省略)

県民・事業者の皆様への協力要請等の内容の変更について (依頼)

本県農林行政の推進につきましては、日頃格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に御協力いただきますとともに、度重なる協力要請のお願いに対し、関係者の皆様への周知に迅速に御対応いただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、第86回埼玉県新型コロナウイルス対策本部会議(令和5年2月16日開催)において、令和5年2月10日に国が定める基本的対処方針が一部変更されたことを受け、マスク着用の考え方を見直すことといたしました。引き続き、感染防止対策と社会経済活動の両立を図っていくため、以下のとおり、協力を要請いたします。

なお、変更部分の適用期間については令和5年3月13日から当面の間とします。

つきましては、その趣旨を御理解いただけますとともに、引き続き関係者の皆様への周知をはじめ感染拡大防止対策に御協力くださるようお願い申し上げます。

記

○ 前回からの主な変更点 (太字下線部)

マスク着用の考え方の見直し

1 県民への要請等
(変更前)

帰省や旅行等、県境をまたぐ移動は、「三つの密」の回避を含め、基本的な感染防止対策を徹底するとともに、感染リスクの高い行動を控えること。

(変更後)

帰省や旅行等、県境をまたぐ移動は、「三つの密」の回避を含め、基本的な感染防止対策を徹底するとともに、感染リスクの高い行動を控えること。
なお、マスクの着用については別紙を参照すること。

2 県主催イベント及び県有施設の取扱い (変更前)

屋内県有施設については、人数上限等の要請を受けている施設と同様の要請を遵守し、徹底した感染防止対策を主催者に徹底させることを条件に開館する。

(変更後)

屋内県有施設については、人数上限等の要請を受けている施設と同様の要請を遵守し、徹底した感染防止対策を主催者に徹底させることを条件に開館する。

なお、来場者のマスク着用徹底は令和5年3月12日で終了とする。

その他の内容は、令和5年1月27日付で協力をお願いしたものと概ね同様です。

詳細については、下記ホームページを御覧ください。

埼玉県HP【2月16日発表】

県民・事業者の皆様への協力要請等の内容の変更

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/covid19/onegai20230216.html>

広告

人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

ASCO

ONE to ONE dog food

CALL ONE™ 総合栄養食

Your dog's food based on the INTESTINAL FLORA INSPECTION.
A good intestinal environment keeps good health.

腸内フローラケア

腸内フローラ検査から
おなかの弱点をピンポイントに補う
世界に1つだけの
“うちの子”専用
健康サポートフード

かわいい“うちの子”の写真入り
パッケージでお届け!!!



詳しくはアスコセールスまで!!!

本社

〒441-8021

愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

東京本社

〒103-0027

東京都中央区日本橋1丁目16番地3号 日本橋木村ビル7階

TEL 03-6225-5790 FAX 03-6225-5791

営業所

・北海道支店

札幌

・東日本支店

前橋、松本、旭、茨城、栃木、東京

大宮、宮城、福島

・中日本支店

豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋

・西日本支店

広島、山口、米子、岡山、大阪、京都

別紙

「マスクの着用」の考え方について

「マスクの着用」の考え方については、令和5年2月10日に国の新型コロナウイルス感染症対策本部決定「マスク着用の考え方の見直し等について」及び基本的対処方針の変更により方針が示されました。

本県においても、マスク着用の考え方の見直しの適用日（令和5年3月13日）から以下のとおりとします。

- マスクの着用については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とします。なお、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されます。
- 高齢者等重症化リスクの高い者への感染を防ぐため、マスク着用が効果的な次の場面では、マスクの着用を推奨します。
 - ・ 医療機関受診時
 - ・ 高齢者等重症化リスクが高い者が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時
 - ・ 通勤ラッシュ時等混雑した電車やバス（※）に乗車する時（当面の取扱い）
※概ね全員の着席が可能であるもの（新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バス等）を除く。
- 新型コロナウイルス感染症の流行期に重症化リスクの高い者が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。
- 症状がある者、新型コロナウイルス感染症の検査陽性の者、同居家族に陽性者がいる者は、周囲の者に感染を広げないため、外出を控えてください。通院等やむを得ず外出をする時には、人混みは避け、マスクの着用をお願いします。
- 高齢者等重症化リスクが高い者が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等の従事者については、勤務中のマスクの着用を推奨します。
- 感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあります。そのような場合においても、子どものマスク着用については、健康面等への影響も懸念されており、引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意してください。

事 務 連 絡

令和 5 年 3 月 2 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

副会長兼専務理事 境 政 人

**動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を
改正する省令の制定について**

このことについて、令和 5 年 2 月 10 日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐（薬事審査管理班担当）から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和 35 年法律第 145 号）第 83 条の 4 第 1 項の規定に基づき、動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令（令和 5 年農林水産省令第 7 号）が令和 5 年 2 月 10 日付けで公布され、同日施行されたことについて周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

記

「ナナフロシンを有効成分とする外皮塗布剤」について、「動物用医薬品使用対象動物」及び「使用禁止期間」を設定。

事 務 連 絡
令和 5 年 3 月 10 日

地方獣医師会会長 各 位

公益社団法人 日本獣医師会
副会長兼専務理事 境 政人

マイクロチップの装着等の義務化に係る 制度説明動画の周知について

このことについて、令和 5 年 3 月 1 日付け事務連絡をもって、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室から、別添のとおり通知がありました。

この度の通知は、令和 4 年 6 月 1 日に施行された動物愛護管理法に基づくマイクロチップの装着等の義務化に係る制度説明動画を配信したことについて、周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

環境ホームページ URL :

■犬と猫のマイクロチップ情報登録について(資料等を参照できます)

<https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/pickup/chip.html>

■環境省公式 YouTube チャンネルによる配信(動画を視聴できます)

○チャンネル URL :

<https://youtu.be/MXxf2GYYECA>

※別添省略

4日獣発第333号
令和5年3月14日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

高病原性鳥インフルエンザの発生状況を踏まえた 消毒の徹底について

このことについて、令和5年3月2日付け4消安第6719号をもって農林水産省消費・安全局動物衛生課長から、別添のとおり通知がありました。

今般、家きんにおいて本病の発生が確認されている都道府県における緊急消毒（別紙の記1（1）の消毒をいう。）の対応が一定程度進展している状況を踏まえ、緊急消毒の対象範囲を拡大し、家きんにおいて本病の発生が確認されていない都道府県を対象とすることについて、都道府県畜産主務部長宛てに通知した旨、周知依頼がありました。

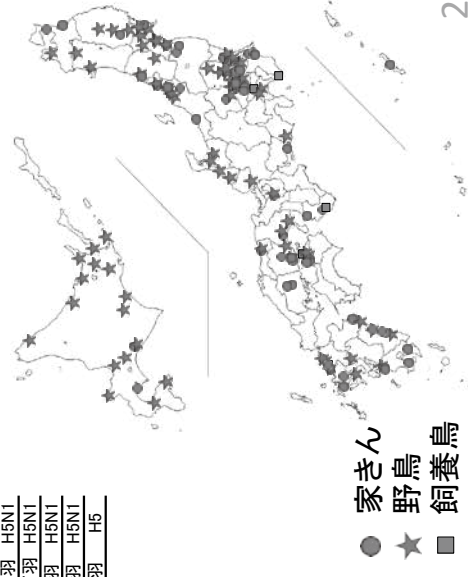
つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

令和4年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

○家きん 26道県80事例

地域	疑似患者判定日	用途	羽数(約)	亜型	地域	疑似患者判定日	用途	羽数(約)	亜型
岡山県倉敷市	10/28	採卵鶏	17万羽	H5N1	49 広島県世羅町	12/27	採卵鶏	12.7万羽	H5N1
2 北海道厚岸町	10/28	肉用鶏	17万羽	H5N1	50 埼玉県狭山市	12/30	採卵鶏	13万羽	H5N1
3 香川県観音寺市	11/1	採卵鶏	4万羽	H5N1	51 広島県世羅町	12/30	採卵鶏	29万羽	H5N1
4 茨城県かすみがうら市	11/4	採卵鶏	104万羽	H5N1	52 群馬県前橋市	1/1	採卵鶏	1.5万羽	H5N1
5 岡山県倉敷市	11/4	採卵鶏	51万羽	H5N1	53 千葉県旭市	1/3	採卵鶏	1万羽	H5N1
6 北海道伊達市	11/7	肉用鶏	15万羽	H5N1	54 福岡県古賀市	1/3	だちょう(エミュー)	約400羽	H5N1
7 岡山県倉敷市	11/11	採卵鶏	3.4万羽	H5N1	55 新潟県村上市	1/6	採卵鶏	130万羽	H5N1
8 和歌山県白浜町	11/11	あひる等	約60羽	H5N1	56 茨城県城里町	1/9	採卵鶏	93万羽	H5N1
9 兵庫県たつの市	11/13	採卵鶏	4.4万羽	H5N1	57 宮崎県川南町	1/10	採卵鶏	10万羽	H5N1
10 鹿児島県出水市	11/18	採卵鶏	12万羽	H5N1	58 広島県三次市	1/10	採卵鶏	83.5万羽	H5N1
11 新潟県阿賀町	11/18	肉用鶏	15万羽	H5N1	59 新潟県上越市	1/13	採卵鶏	10.5万羽	H5N1
12 新潟県新潟町	11/20	採卵鶏	16万羽	H5N1	60 大分県佐伯市	1/17	肉用鶏	1.3万羽	H5N2
13 青森県横浜町	11/20	肉用鶏	12.2万羽	H5N1	61 滋賀県大津市	1/19	採卵鶏	約4,000羽	H5N1
14 香川県観音寺市	11/22	肉用鶏	2.4万羽	H5N1	62 群馬県前橋市	1/19	採卵鶏	45万羽	H5N1
15 香川県観音寺市	11/23	採卵鶏	1.4万羽	H5N1	63 広島県世羅町	1/21	採卵鶏	12.8万羽	H5N1
16 宮城県気仙沼市	11/23	肉用鶏	2.1万羽	H5N1	64 千葉県匝瑳市	1/22	採卵鶏	14万羽	H5N1
17 鹿児島県出水市	11/24	採卵鶏	7万羽	H5N1	65 埼玉県行田市	1/26	あひる(あいがも)	約3,000羽	H5N1
18 千葉県香取市	11/26	あひる(あいがも)	約20羽	H5N1	66 滋賀県大津市	1/26	だちょう(エミュー)	6羽	H5N1
19 鹿児島県出水市	11/27	採卵鶏	47万羽	H5N1	67 群馬県前橋市	1/27	採卵鶏	5.3万羽	H5N1
20 福島県伊達市	11/29	肉用鶏	1.7万羽	H5N1	68 千葉県匝瑳市	1/27	採卵鶏	24万羽	H5N1
21 和歌山県和歌山市	11/30	採卵鶏	4.6万羽	H5N1	69 宮城県角田市	1/28	あひる(あいがも)	1.2万羽	H5N1
22 鳥取県鳥取市	12/1	採卵鶏	11万羽	H5N1	70 千葉県匝瑳市	1/28	採卵鶏	25万羽	H5N1
23 鹿児島県出水市	12/2	採卵鶏	12万羽	H5N1	71 埼玉県日高市	2/1	うすら	13.5万羽	H5N1
24 鹿児島県出水市	12/4	採卵鶏	3.4万羽	H5N1	72 茨城県かすみがうら市	2/2	ほろぼろ鳥等	約4,800羽	H5N1
25 愛知県豊橋市	12/5	採卵鶏	31万羽	H5N1	73 茨城県八千代町	2/3	採卵鶏	111万羽	H5N1
26 佐賀県武雄市	12/6	採卵鶏	3万羽	H5N1	74 鹿児島県鹿屋市	2/3	育雛(肉用種鶏)	2.4万羽	H5N1
27 鹿児島県出水市	12/7	採卵鶏	6万羽	H5N1	75 千葉県横芝光町	2/10	あひる	約5,000羽	H5N1
28 福島県飯沼村	12/7	採卵鶏	10万羽	H5N1	76 茨城県茨城町	2/10	採卵鶏	115万羽	H5N1
29 山形県鶴岡市	12/8	採卵鶏	2.7万羽	H5N1	77 福岡県福岡市	3/2	採卵鶏	24.3万羽	H5N1
30 鹿児島県出水市	12/8	採卵鶏	6.3万羽	H5N1	78 新潟県胎内市	3/6	採卵鶏	68万羽	H5N1
31 愛知県豊橋市	12/8	あひる(あいがも)	約1,000羽	H5N1	79 新潟県胎内市	3/12	採卵鶏	33万羽	H5N1
32 鹿児島県出水市	12/9	採卵鶏	22万羽	H5N1	80 岩手県金ケ崎町	3/14	採卵鶏	8.4万羽	H5
33 香川県三豊市	12/11	採卵鶏	8万羽	H5N1					
34 鹿児島県出水市	12/11	採卵鶏	2.2万羽	H5N1					
35 青森県三沢市	12/15	採卵鶏	137万羽	H5N1					
36 広島県世羅町	12/16	採卵鶏	12万羽	H5N1					
37 沖縄県金武町	12/16	採卵鶏	4.5万羽	H5N1					
38 埼玉県深谷市	12/17	採卵鶏	19.4万羽	H5N1					
39 鹿児島県南九州市	12/18	採卵鶏	3.5万羽	H5N1					
40 福岡県糸島市	12/19	採卵鶏	5.4万羽	H5N1					
41 鹿児島県阿久根市	12/19	採卵鶏	7万羽	H5N1					
42 広島県世羅町	12/19	採卵鶏	18.7万羽	H5N1					
43 岡山県美咲町	12/20	あひる(あいがも)	2.3万羽	H5N1					
44 宮崎県日向市	12/21	肉用鶏	5万羽	H5N1					
45 鹿児島県阿久根市	12/21	肉用鶏	3.7万羽	H5N1					
46 長崎県佐世保市	12/22	採卵鶏	2.7万羽	H5N1					
47 茨城県笠間市	12/22	採卵鶏	11万羽	H5N1					
48 福岡県糸島市	12/26	肉用鶏	3.6万羽	H5N1					



埼玉県獣医師会提携ローンについて

会員の福利・厚生を増進並びに獣医療推進の一環としての銀行との「提携ローン」について、年度の当初にあたり、下記のとおり「埼玉りそな銀行」、「武蔵野銀行」からご案内がありましたのでお知らせします。
 なお、ご利用に当たっては、獣医師会長の「紹介状」が必要ですので、獣医師会事務局までご相談下さい。

① 株式会社 埼玉りそな銀行

2023年3月吉日

公益社団法人 埼玉県獣医師会 御中

株式会社 埼玉りそな銀行
 さいたま営業部
 部長 井口 淳也

お知らせ

拝 啓

貴会ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は弊社に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では、貴会との提携によります「住宅ローン」につきまして、期間限定にて下記条件でのお申込受付をさせていただきます。

なお、商品の詳しい内容につきましては、弊社担当者までお問合せ下さい。

今後とも、貴会のお役に立てますよう努力を重ねて参る所存でございますので、よろしくお願ひ申し上げます。

敬 具

記

項 目	内 容
対象住宅ローン	<ul style="list-style-type: none"> ・変動金利型住宅ローン ・固定金利選択型住宅ローン
金 利 内 容	変動金利型住宅ローン 標準金利 △1.4% 固定金利選択型住宅ローン 標準金利 △1.4% (ご利用全期間)
お 取 扱 期 間	2023年4月1日～2023年9月30日お申込受付分まで (「保証委託申込書」の「お申込日」が2022年9月30日までのものとさせていただきます。)

※その他条件は貴会との提携ローン契約に準じます

以 上

② 株式会社 武蔵野銀行

公益社団法人 埼玉県獣医師会 御中

株式会社 武蔵野銀行
地域サポート部
部長 関谷 宏之

お知らせ

拝 啓

貴会ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は弊行に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊行では、貴会との提携によります会員の皆様向けに「むさしの獣医師ローン」(事業ローン・住宅ローン)の取扱いを致しております。

つきましては、資金調達の際は是非ともご利用をご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、商品の詳しい説明につきましては、各店窓口までお問合せ下さい。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

敬具

広告

人が食べるものと同じだけ安全で
美味しいものを愛犬にも与えたい。

ドクタークレド

Dr. CREDO

胃腸と皮膚が気になる

成犬用 総合栄養食

No.1

血流と健康が気になる

中・高齢犬用 総合栄養食

No.2

体重と健康が気になる

成犬用 総合栄養食

No.3

美味しさに
自信

ドクターイデア

Dr. IDEA

こだわりの国産品。

いつでも新鮮! 小分けパック。

下部尿路に

No.1

体重管理に

No.2

7歳から

No.3

愛犬・愛猫のトータルサポートフード

着色料不使用

自然派由来の酸化防止剤



森久保CAメディカル株式会社

神奈川：046-206-5713
三郷：048-948-2112

山梨：055-267-6758
茨城：0296-54-6101

東京：042-564-2381
千葉：043-309-5430

埼玉：04-2968-0881

令和4年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和5年3月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
4月			
5月			
6月			
7月13日(水)		埼玉県獣医師会オンラインセミナー 「獣医再生医療汎用化時代を迎えて」 ひらの動物病院 平野 由夫 先生	
8月			
9月4日(日)	令和4年度 関東・東京 合同地区獣医師大会(神奈川)獣医学術関東・東京合同地区学会 (藤沢市 レンブラントホテル海老名)		
10月25日(火)		さいたま市支部 「日常の診療で知っておくべき骨折・脱臼 の一次管理」 日本大学 枝村 一弥 先生 【Zoomにて開催】	
11月11日(金) ～13日(日)	第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会、令和4年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (福岡市 ヒルトン福岡シーホーク)		
12月6日(火)		南支部 「肺炎の病態とその対処法～とりあえずの 抗菌薬治療からの脱却～」 どうぶつの総合病院 佐藤 雅彦 先生 【Zoomにて開催】	
令和5年 1月24日(火)	農林支部 令和4年度埼玉県家畜保健衛生 業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
2月1日(水)		西支部 「犬の難治性外耳炎」 東京農工大学付属動物医療センター皮膚科 大隅 尊史 先生 【Zoomにて開催】	
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月1日(水)		北支部 「嘔吐のレントゲン診断」 米国獣医画像診断学専門医 村上 正紘 先生 【Zoomにて開催】	
3月17日(金)		東支部 「それって発作？けいれん発作への診断ア プローチ」 どうぶつの総合病院 金園 晨一 先生 【Zoomにて開催】	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

令和5年

- | | | | |
|-------|--|-------|--|
| 3月14日 | 第2回畜産懇話会・埼玉県畜産会第3回
理事会(熊谷市 ホテルヘリテイジ) | 7月9日 | 第2回関東・東京合同地区獣医師会理事会・
幹事会(さいたま市 ソニックシティ) |
| 3月22日 | 第3回総務委員会(さいたま市 埼玉県
農業共済会館) | 9月3日 | 令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会・
三学会(さいたま市 ソニックシティ) |
| 3月29日 | 第4回・第5回理事会(さいたま市 埼玉
県農業共済会館) | 9月4日 | 関東・東京合同地区チャリティーゴルフコ
ンペ(東松山市 東松山カントリークラブ) |
| 4月9日 | 第1回関東・東京合同地区獣医師会理事
会・幹事会(さいたま市 ソニックシティ) | 12月1日 | 令和5年度日本獣医師会獣医学術学会年次
～3日大会(兵庫県神戸市 神戸国際会議場) |
| 6月27日 | 日本獣医師会第80回通常総会(東京都港区
明治記念館) | 令和6年 | |
| | | 2月25日 | 関東・東京合同地区獣医師会監査会・第3
回理事会(さいたま市 ソニックシティ) |

編集後記

この冬も10年に一度だ！という大雪に見舞われ、大渋滞、雪かきに苦しめられ、雪落として亡くなった方もおられた。と言っている間もなく3月には暖かくなり気温が20度を超え、あっという間の桜の開花だ。蕾が開くのを見ながら楽しむ「のどかな時代」は終わってしまった様だ。

残念な事に我が国では3月中旬になっても高病原性鳥インフルエンザが終息していない。奮闘しておられる農林部の獣医師の皆様大変ご苦労様です。WHOの公表によると2月24日にカンボジアで11歳の少女がH5N1型の鳥インフルエンザに感染して亡くなって調査を進めているようだ。家族内での濃厚接触で感染する可能性は否定できないと言うが稀だそうで、今後ウイルスの変異が有ると仮定して行くしかないであろう。これから益々人獣感染症が増える可能性が有り、One Healthに対する獣医師への期待が益々高まってくるだろう。今シーズンの当県での高病原性鳥インフルエンザの累計殺処分数は現在までに45万羽を超え、延べ作業従事者は4千5百人超であった。ずっと殺処分を続けているが、他に方法はないのだろうか？ 諸外国はどうやっているのだろうか？ そこで、青森県の大規模農場で初めての試みとして完全な「分割管理」で発生鶏舎と健康鶏舎を分けることで、殺処分羽数を減らすことが出来るのではないかと、言う試みである。莫大な経費が掛かるが、本当に他の鶏舎への感染を防ぐことが出来るのだろうか？ うまくいけば卵や鶏肉の安定価格、安定供給のためになるのでぜひ成功して欲しいものである

会報第711号に本会のゴルフ同好会第150回記念大会が3年越しで感染対策をしながら盛会裏に終了したとの報告がありました。歴代の同好会会長並びに役員の皆様方、同好会会員、これまでの参加者の皆様方150周年記念大会大変おめ

でとうございます。今後も体力維持、ストレス解消、会員の親睦の為にまずは200回記念大会を目指して頑張ってください。

先日の報道で中国農村部の老人の自殺者の増大、都市部との格差がしばらく前と桁違いの差になっているという、日本もロシアも、中国も世界中の国が武器商人に金を使わないで、農業や資源エネルギー開発などに金を使ったら良いのではないだろうか？ カーボンニュートラルは何処へ行った？ 特に日本は食糧の自給率は減少の一途を辿っており農業にもっと効率的な支援が出来ないものなのか？ 先進国の農業政策を習って大改革をするべきである。

国民の期待を担って飛び立つはずの高価な人工衛星を積んだH3ロケットが失敗に終わった。MRJも含めて今では空に向かって行くものは日本の技術はダメなのか？ 残念だ。もう日本のモノづくりの技術は世界に後れを取ってしまったのか？ 今でも思い出されるのは世界一の性能を目指すスーパーコンピューターの開発に対し、ある政権が事業仕分けで「二番ではだめなのですか？」と質問していたが、やはり何でも上を向いて一番を目指す努力が必要ではないだろうか？

今年になって集合狂犬病予防注射実施者講習会、狂犬病の資材売買契約会、狂犬病予防委員会・班長会議、新入会員研修会、総務委員会、理事会が次々と対面で開催されたが、皆さんの顔を見ながらの会合はより気持ちが通じ合えてやはりいいものである。

4月になりました。県庁や一般企業では人事異動や新入社員の時期です。ご苦労様でした。そしておめでとう。狂犬病予防注射実施者の先生方には昨年同様コロナの感染に注意していただきながら無事に終了する事を祈っております。

(不動)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

公益社団法人日本獣医師会の会員の皆様へ



集団扱制度のご案内

お得な制度ですのでぜひご利用をご検討ください！

特長1 保険料が割安！

- ・日本獣医師会会員を契約者とする「集団扱契約」により、**保険料が5%割安**です。
※集団扱一括払による割引適用
- ・自動車保険・火災保険で適用可能ですので、現在ご加入中の保険料より割安になる可能性があります。

5% off

特長2 ご家族等の方もご利用いただけます！

- ・被保険者（保険の対象となる方）は、①「ご契約者本人」のほか、②「①の配偶者*」、③「①または②の同居の親族」、④「①または②の別居の扶養親族」を設定できます。

* 配偶者には内縁の相手方および同性のパートナーを含みます。以下同様とします。



<お問い合わせ先・取扱代理店>

株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー29F
TEL : 03 (3340) 6497 FAX : 03 (3340) 5700
Mail : njkyousai@nichizei.com
ご不明点がありましたら、Mailでもお問い合わせ可能です。



<引受保険会社>

損害保険ジャパン株式会社

団体・公務開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03 (3349) 5402 (平日午前9時から午後5時)
(SJ21-11019 2021.12.10)

伝わる
大反響
デザイン



NO RESPONSE, NO DESIGN!



株式会社アサヒコミュニケーションズ

本社・工場 / 〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町 4-3-23 TEL.048-541-5152

